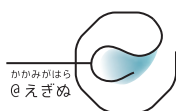




令和8年度 各務原市歴史民俗資料館企画展

第3回

@えぎぬ展



絵絹は、主に日本画の基底材に使用されている平織の絹織物です。国内産のほぼ100%を各務原市で生産していますが、現在では織物業に従事する職人もわずかとなりました。
絵絹素材に着目した「@えぎぬ展」を開催し、絵絹作品の紹介と伝統文化の未来を考える機会とします。

令和8年 10月31日(土) – 11月29日(日)

会 場 / 各務原市立中央図書館 3 階 展示室 A・B(岐阜県各務原市那加門前町 3-1-3)
時 間 / 10:00 ~ 17:00 ※11月20日(金)のみ 10:00 ~ 19:00 (入館は 18:30 まで)
観覧料 / 無 料
休館日 / 11月2日(月)、9日(月)、13日(金)、16日(月)、17日(火)、24日(火)、25日(水)

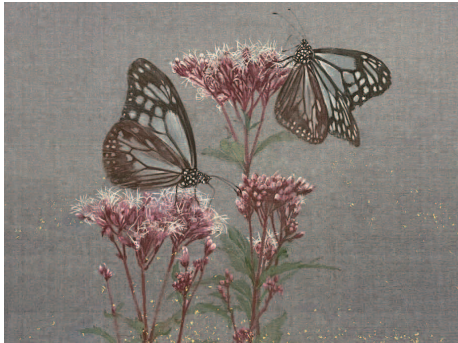
主 催 / 各務原市教育委員会

協 力 / 苅周株式会社・モリカツ織物・キヤノン株式会社・特定非営利活動法人京都文化協会・岡山県立美術館(順不同)



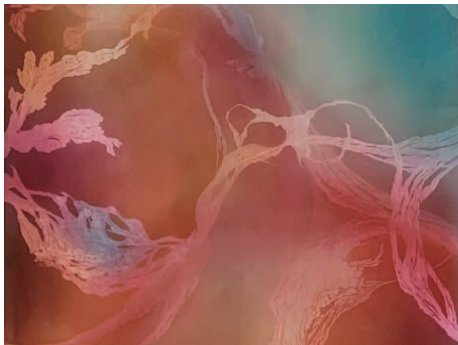
1. 加藤 千奈 KATO China

1986年 名古屋市生まれ。2012年 東京藝術大学日本画専攻卒業。2014年 東京藝術大学大学院絵画専攻日本画領域修了。現在、名古屋造形大学非常勤講師、名古屋芸術大学非常勤講師。日本画での絵具の発色を生かし、動物や植物をモチーフに制作し、百貨店・画廊で発表している



4. 宇城翔子 USHIRO Shoko

1988年 三重県生まれ。2017年 3月 愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程美術（日本画）専攻博士号取得。2026年 現在 日本美術院院友



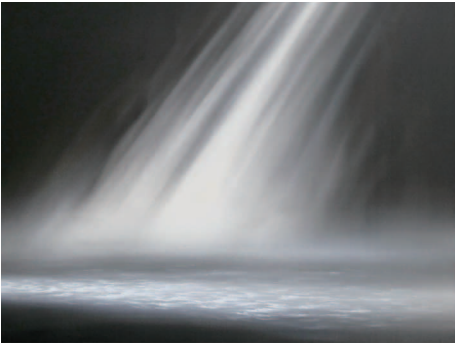
7. 河村 尚江 KAWAMURA Naoe

1971年 岐阜市生まれ。1996年 多摩美術大学大学院修了。2012年～ 光風会展。各務原市立中央図書館や岐阜県博物館をはじめ、パリ、ニューヨークなど国内外で個展を開催。2023-24年 Maison et Objet Paris 出展。2025年 光風会会員賞受賞。2026年 日展 中日新聞社賞受賞。日工会 第35回記念展賞受賞



10. 上村 俊明 KAMIMURA Toshiaki

1947年 大阪市生まれ、各務原市在住。創画会会友。各務原市美術展審査員(2011～2019年)。岐阜日本画協会理事。主に花鳥画を制作、古くて新しいともいえる「絵絹」という基底材に紙とはまた違った表現の可能性を感じ、絵絹を使っでの制作を中心としている



2. 川島 正行 KAWASHIMA Masayuki

1954年 高山市生まれ。1988年 日本現代美術家連盟賞受賞、現代美術精鋭国体展出品。1989年 文部大臣奨励賞受賞。2013年よりサロン・ドートゥヌ、パリ国際サロン、日本フランス現代美術世界展、スペイン美術賞展などに出品。2025年「絹に描く 墨・彩・光展」（岐阜市）。現在、日本国際美術家協会会員



5. 大嶋 直哉 OSHIMA Naoya

1995年 各務原市生まれ。2019年 創画展入選（'20～'22、'24～'26）。2021年「第28回飛騨高山臥龍桜日本画大賞展」大賞。「Will+s 2021」優秀賞。2024年 東京藝術大学大学院博士後期課程美術専攻美術領域日本画修了、博士号取得。2025年 創画会賞受賞。東京藝術大学美術学部教育研究助手、創画会准会員



8. 京都 絵美 MIYAKO Emi

1981年 福岡県生まれ。2012年 東京藝術大学大学院文化財保存学専攻（保存修復日本画）博士後期課程修了、博士号取得（文化財）。2016年 山種美術館Seed日本画アワード2016大賞受賞。2026年 文化財保存修復学会奨励賞受賞。現在、嵯峨美術大学准教授



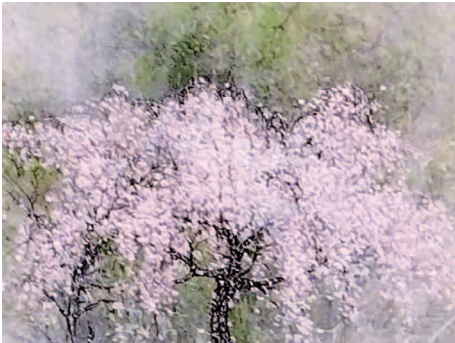
11. 蔵田 美和 KURATA Miwa

1964年 岐阜県生まれ。1982年 岐阜県立加納高等学校美術科卒業。1986年 女子美術大学芸術学部絵画科日本画専攻卒業。2005年 三輪大神享保・文化渡御の巻復元模写奉納。2011年 三輪大神平成渡御の巻制作奉納。同年、大垣まつり山車図横幕下図 制作。他、個展多数開催



3. 向井 大祐 MUKAI Daisuke

1988年 岐阜市生まれ。2017年 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復日本画 博士後期課程修了、学位博士号（文化財）取得、野村美術賞受賞。2020年「新春美術館2020～色即是芸～」(ぎふメディアコスモス／岐阜市)、2021年「第9回 郷さくら美術館桜花賞展」奨励賞。他、個展など多数開催



6. 渡邊 久二男 WATANABE Kunio

1957年 愛媛県生まれ。1978年 日春展初入選。1991年 日展初入選。臥竜桜日本画大賞展入選。前田青郁記念大賞展入選。TYK絵画大賞展準大賞。サムホール展佳作賞。日展会友、日春会会友、岐阜日本画協会理事



9. 立木 美江 TACHIKI Yoshie

1983年 福岡県生まれ。『一枚の「絵」が草花と人々のご縁を繋ぎ、身近な自然に想いを寄せて心豊かな毎日を紡いでくれます』。近年は日本画材を支えている職人の現状を踏まえ、支援活動の輪を広げるべく日本画を国内外に広く普及する活動を行っている。合同会社 野の画家代表、日本美術院院友



12. 鈴木 葉留香 SUZUKI Haruka

1995年 愛知県生まれ。2023年 名古屋造形大学大学院造形表現制作日本画研究修了。2022年 佐藤大清賞展入選。2025年 台北にて臺日交流美術展参加。人物や猫、さまざまな模様などをモチーフに制作を行っている。現在、愛知県を拠点に個展、グループ展など開催。名古屋学芸大学非常勤講師



13. 福田 季生 FUKUDA Kiharu

1985年 奈良県生まれ。2011年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻日本画修了。2021年 京都市芸術新人賞受賞。2023年 第10回日展 特選受賞。2026年「都をどり」ポスター原画担当。各地で個展、グループ展多数。伝統的日本画技法を用いて現代的な女性像を描いている。日春会・日展会友



16. 武田 裕子 TAKEDA Hiroko

1983年 東京都生まれ。2012年 東京藝術大学大学院文化財保存学専攻保存修復日本画博士後期課程修了、学位博士号（文化財）取得、野村美術賞受賞。2013-14年 中国美术学院中国画系花鳥画高級進修生修了。現在、京都芸術大学大学院准教授、東京藝術大学大学院学術インストラクター



19. 永岡 郁美 NAGAOKA Ikumi

1987年 島根県生まれ。2011年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻学士卒業。2013年 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻日本画修士課程修了。2019年「Seed 山種美術館 日本画アワード 2019 -未来をになう日本画新世代-」奨励賞受賞。2022年 第9回前田青郁記念大賞 奨励賞受賞



22. 遠藤 泉女 ENDO Sennyô

1954年 岐阜市生まれ。書家、現代美術作家。個展はギャラリーフィナルテ(名古屋)、なうふ現代(岐阜)など、他分野の作家と共にグループ展に出品。紙の他、支持体にセメント、ダンボール、布、ビニールなどを使用し、文字に限定せず書の可能性、可塑性を追う



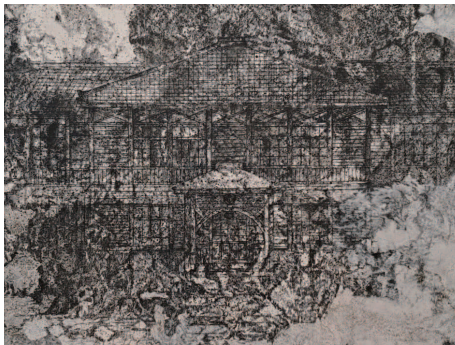
14. 林 真 HAYASHI Shin

1972年 岐阜県生まれ。1999年 名古屋芸術大学大学院修了。2005年「臥龍桜日本画大賞展」大賞（'04優秀賞）。2013年「日展」特選（同'22）。2021年「新日春展」新会員賞（'04、'11、'17奨励賞・'18新日春賞）。現在、日展準会員、日春会会員。名古屋芸術大学非常勤講師



17. 大平 由香理 OHIRA Yukari

1988年 岐阜県生まれ。日本画の画材と技法を用いてその土地で出会った光景や事象を元に自身が出会った風景を描く。2022年 アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.12 大平由香理（岐阜県美術館）、2024年 吉野石膏美術振興財団在外研修員（アメリカ）、他



20. 山本 真一 YAMAMOTO Shinichi

1967年 名古屋市生まれ。1993年「第78回再興院展」初入選。1994年 愛知県立芸術大学大学院美術研究科日本画専攻修了。2006年「雪舟の里総社 墨彩画2006」雪舟大賞。2015年 岐阜市長より特別表彰を受ける。2018年～ 加藤栄三・東一記念美術館館長。現在、日本美術院特待



23. 河田 美奈枝 KAWADA Minae

1968年 各務原市生まれ。写真家。2025年 写真集『TREMOLÓ』刊行。近年、銀座、台北、Art Window(各務原市)などで作品展を開催。また、これまで国内外のグループ展に多数参加。絵絹を用いた新たな写真表現を試みている



15. 安井 彩子 YASUI Ayako

1984年 名古屋市生まれ。2011年 愛知県立芸術大学大学院修了。2018年 第6回 郷さくら美術館桜花賞展館長賞。本證寺本聖徳太子絵伝(安城市歴史博物館)全十幅現状模写など古典絵画模写、古典技法研究に従事。愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所研究員、同大学非常勤講師。日本美術院院友



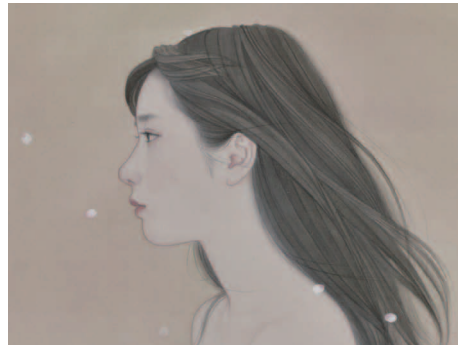
18. 加藤 正晴 KATO Masaharu

1984年 長崎県生まれ。2009年 敦煌研修。2010年 愛知芸大大学院日本画領域修了(模写保存)。2015年 YOUNG ART TAIPEI、321蔚龍(台湾)滞在制作。日本画の枠を超え平面立体問わず膠彩と截金を軸にした表現を探究している。名古屋造形大学非常勤講師



21. 長澤 耕平 NAGASAWA Kohei

1985年 東京都生まれ。主な展覧会に、第7回東山魁夷記念日経日本画大賞展、FROM-それぞれの日本画-(郷さくら美術館他)、日本画の棲み家-「床の間芸術を考える」-(泉屋博古館東京)その他個展グループ展多数。創画会正会員・東京藝術大学日本画研究室助教



24. 大竹 彩奈 OTAKE Ayana

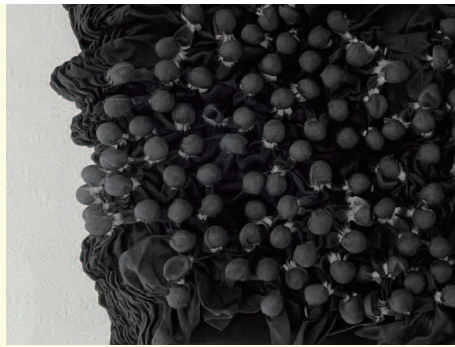
1981年 埼玉県生まれ。2009年 東京藝術大学大学院美術研究科日本画修士課程修了。2012年 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻日本画研究領域修了(学位取得)。2019年 資生堂「クレ・ド・ポー ボーテ」ホリデーコレクション コラボレーションパッケージ発表

(順不同)



25. 松原 亜実 MATSUBARA Ami

1987年 東京都生まれ。2012年 東京藝術大学 美術学部絵画科 日本画専攻卒業。2017年 東京藝術大学大学院 美術研究科博士 後期課程 文化財保存学専攻 保存修復日本画 修了 博士号(文化財)取得。2025年 大河ドラマや映画の浮世絵指導および劇中画制作。現在、東京藝術大学専門研究員、日本美術院院友



26. ひびの こづえ HIBINO Kodue

静岡県生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。コスチューム・アーティスト。「フェイクスピア」にて紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」や野田秀樹作・演出の「華氏マイナス320」の衣裳を担当。奥能登国際芸術祭、大地の芸術祭、瀬戸内国際芸術祭に参加。ダンスパフォーマンス「WONDER WATER」等を企画展開中。能登半島地震・珠洲応援ダンスプロジェクトを発足活動中

●「アートブリッジ(ART×産業)」

2020年から「アートでうごかす・アートでつながる」をコンセプトとし、アートとかけあわせることで、地域資源を活かすことを目的とした「アートブリッジ」を行ってきました。

今回の「@えぎぬ展」では、コスチュームアーティストのひびのこづえさんによる絵絹を素材とした新しい試みを紹介します。

関連事業

●高精細複製品展示

「綴プロジェクト」では、国宝や重要文化財など、国内外の至宝と言われる文化財の高精細複製品を制作しています。ミネアポリス美術館に所蔵されている《春秋山水図屏風》は、キャノンの先進イメージング技術と京都伝統工芸の匠の技との融合によって、オリジナルの文化財が持つ微妙な風合いや質感までも取り込み、遜色なく忠実にプリント出力しています。このプロジェクトには、当市で生産された絵絹を使用しており、細部に至るまでオリジナルに限りなく忠実なつくりとなっています。ぜひご覧ください。

※ 綴プロジェクト(正式名称:文化財未来継承プロジェクト)
キャノンと京都文化協会が共同で行っている社会貢献活動を主とするプロジェクトです。

会 場: 中央図書館3階 展示室B

浦上春琴(1779-1846)

江戸時代に備中鴨方藩士の長男として岡山城下に生まれる。父や弟・秋琴ともに諸国を遊歴する。父は文人画家の浦上玉堂。春琴も山水画に長けており《春秋山水図屏風》は、大河をはさみ異なる季節を自在に描き分けている。



Minneapolis Institute of Art, Mary Griggs Burke Collection, Gift of the Mary and Jackson Burke Foundation 2015.79.142.1-2

浦上春琴《春秋山水図屏風》高精細複製品 岡山県立美術館蔵(原本:ミネアポリス美術館蔵)

●ワークショップ「みんなでつなぐ物語③」

各務原市で生産された糸糸を使用して、みんなで1枚の絹織物を織ってみましょう。

講 師: 中谷さとみ(紙布作家)

日 時: 11月3日(火・祝) 10:30~12:00 / 13:00~16:00

11月8日(日) 10:30~12:00 / 13:00~15:00

11月15日(日) 10:30~12:00 / 13:00~15:00

11月28日(土) 10:30~12:00 / 13:00~15:00

会 場: 中央図書館3階 展示室A

※当日受付、参加費不要
※各回お一人15分程度の体験です
※織った布は持ち帰れません



中谷さとみ NAKATANI Satomi

1961年 奈良県生まれ。奈良県内の藍染め工房でインストラクターをする傍ら、独学で紙布を織る。美濃の薄く強い手漉き和紙「薄美濃」に出会い、2020年4月、美濃市に移住。「紙の里」蒔生の工房で諸紙布を中心に作品制作し、その工程の「手仕事」にとことんこだわり続ける



手織り機

●絵絹織元と語る

「高精細複製屏風 浦上春琴《春秋山水図》に挑む」

出 演: 苅谷成彦(苅周株式会社)

聞き手: 廣江貴子(当館学芸員)

日 時: 11月7日(土) 14:00~15:00

会 場: 中央図書館4階 多目的ホール

「一丁樋という織物と手機」

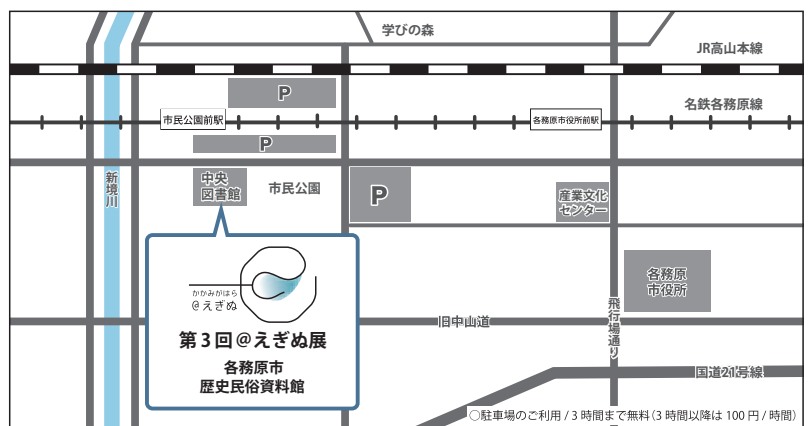
出 演: 森美津子(モリカツ織物) 中谷さとみ(紙布作家)

聞き手: 廣江貴子

日 時: 11月29日(日) 14:00~15:00

会 場: 中央図書館4階 多目的ホール

※当日受付、参加費不要



各務原市歴史民俗資料館

〒504-0911 岐阜県各務原市那加門前町 3-1-3

Tel: 058-383-1361

e-mail: art@city.kakamigahara.gifu.jp